ビジネス情報の海外向けPRツール作成業務に係る

公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会　議事要旨

令和６年５月30日（木曜日）

１．日時及び場所

　○ 書類審査及びプレゼンテーション審査

　　 令和６年５月30日（木曜日）　13時15分から15時00分

大阪府咲洲庁舎25階　成長産業振興室会議室

２．審査方法

　　あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により100点満点で総合評価を行った。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が60点を超え、提案者のうち最高得点の者を最優秀提案者として選定。

３．審査対象者（提案者）

　（１）株式会社トライアウト

　（２）株式会社時事通信社

４．議事要旨

* 選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）
* 審査方法及び審査基準の確認（総合評価点の平均が60点に満たない場合は選定しない旨を確認）
* 企画提案部分について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施
* その後、選定委員から10分間の質疑応答を実施
* 審査の結果、「株式会社時事通信社」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見】

〇 最優秀提案事業者は、見る側の視点に立った情報提供とデザインを提案しており、企業訪問の実現につながることが期待できる。

　 〇 また最優秀提案事業者は、自社で翻訳部門を有しており、円滑かつ正確に業務を進めることができると推測される。独自の取材力で、充実した内容となることも期待できる。

　 〇 一方で、単なる企業情報の掲載とならないよう、巻頭インタビュー以外にも工夫を凝らし、他の情報誌との差別化を図ってほしい。万博を契機とした、海外からのビジネス関係者の大阪・関西への呼び込みを効果的に促進するPRツールが作成されることを期待している。

５．選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属・職名等 | 氏　名 | 選任理由 |
| 大阪弁護士会（松田・澤田法律事務所）  弁護士 | 澤田　裕和 | 法律の専門家としての知見を活用し、提案内容が法的に問題なく、円滑に実施できるものであるかという観点から審査いただくため。 |
| 独立行政法人日本貿易振興機構大阪本部次長 | 杉山　玲子 | 海外ビジネスに精通しており、提案内容が海外企業等に対して訴求力があるものか、大阪への呼び込みに十分期待できるものか審査いただくため。 |
| 大阪商工会議所  国際部長 | 根来　宜克 | 産業に関する知見や国際ビジネス交流のプロモーションの実務経験が豊富であり、提案内容の効果や妥当性を審査いただくため。 |